

川崎の社会福祉

あなたの「やってみたい!」を応援する広報誌



No.598

2022.10
AUTUMN

たくさんのご支援をありがとうございます

SDGsの

特集

社協とすすめる持続可能なまちづくり
みんなで変えよう、かわさきの未来



川崎市社会福祉協議会 (通称: 川崎市社協)

For a Smile



川崎市社協キャラクター
ななふく

社協とすすめるまちづくり

みんなで変えよう、かわさきの未来

最近よく耳にする「SDGs（持続可能な開発目標）」という言葉。このSDGsが掲げる「誰ひとり取り残さない」社会の実現って、実は私たち社協が目指す理念そのものなんです。より良い地域づくりに向け、一緒にチャレンジできることを見つけませんか？



かわさきSDGs
ゴールドパートナーに
認証されました



持 続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) のことで、世界規模の課題解決に向けた国際目標。2030年の目標達成を目指し、格差・貧困・気候変動など17のゴールと169のターゲットから構成されています。



“互いを認め合う心”をはぐくむ地域活動

社協の事業は、SDGsのまちづくりに必要不可欠な活動ばかり。身近で気軽な地域活動に参加して、SDGsの実践を目指しましょう。

チャレンジボランティアへの参加



夏休みに実施している、小学生～大学生を対象としたボランティア体験。多様性のある社会を知って、自分のまちをもっと好きになろう！

- 問合せ：ボランティア活動振興センター
- TEL：044-739-8718



2022年も多くの子ども達がチャレンジしました。実施プログラム数 32／参加者数 178名



子育てサロンの紹介

孤立した育児に苦しむ保護者を支えるため、市内子育てサロンや支援団体の情報をお届け。地域で子どもを育てる意識が広がりますように。



子育てサロン情報や先輩パパママからのメッセージをHPで紹介



こどもの居場所活動紹介ガイドブック



年齢や障がいに関係なく楽しめるポッチャ大会も開催

- 問合せ：各区老人福祉センター

老人福祉センターの利用



社協が各区で運営する「老セン」を利用するのも立派なSDGs。地域の居場所を盛り上げて、誰もが笑顔で暮らせるまちづくりに貢献！



区社協発

SDGsで

地域の子どもたちをサポート



SDGs1番目のゴール「貧困をなくそう」。日本でも6人に1人が貧困状態とされています。「生活に苦しむ子どもたちを救いたい」という思いから始まった、川崎区の食糧支援活動。スタートから2年以上を経て、関係機関・企業を巻き込んだ、持続可能な地域活動へと成長させてきました。今夏には物価高も追い打ちとなり、これまで月平均100世帯だった食糧支援の数が、7月には市内790世帯にまで増加しています。

職員さんに聞きました！



コロナをきっかけに生まれた食糧支援



川崎市社協 地域課
佐藤祐佳 職員



食糧支援活動を始めたきっかけは？



日々の食事を満足にとれない子どもたちがいます。そんな彼らにとって学校給食はまさに命綱。けれど2020年、緊急事態宣言による一斉休校が要請され、区社協職員として大きな危機感を覚えました。

そこで、私たちが持つ地域のネットワークを活かし、食糧・日用品を福祉施設や企業から集め、区役所などを通して心配な家庭へ配布する、という支援の仕組みをつくりました。



当初は川崎市だけの取り組みでしたが、現在は全市域を対象とした「食糧支援かわさき」として広まっていますね。



コロナの長期化で、エリアを問わず相談件数は増える一方です。地域を見守る多くの方々と協

働しながら対応にあたっていますが、私たちの食糧ストックも尽きてきました。寄付などご賛同いただける方をもっと集めなければいけません。



今後の目標を教えてください。



食糧をツールにすることで、子どもをとりまく環境実態を把握できるようになりました。けれど、一時的な食糧支援だけでは根本的な解決にはなりませんよね。

家庭への経済支援だけでなく、子どもたち自身が「生きる力」を身につけられるよう、長期的な視点でのサポートが必要です。そして、きっかけは私たち福祉機関であったとしても、そのまちに住む人たちが活動をつないでいてほしい。地域全体で持続可能な活動をつくり出していくことが最大の目標です。



食糧支援をきっかけに、川崎市社協・区役所・家庭支援センターなどから構成されるネットワークが発足。



メディアも活動に注目。NHK「首都圏ニュース」「おはよう日本」で紹介されました。

応援しています！ 協力企業からのメッセージ



味の素株式会社 川崎事業所
総務・企画グループ
鈴木真史さん

企業らしさが伝わる地域貢献を

社協の食糧支援への協力は「困窮する方々の助けになりたい」という言葉に共感したのがきっかけ。地域の一員として、私たちにできることは何か。社内で検討した結果、調理に手間がかからず、常温保存でき、かつ「味の素らしさ」も感じていただけるよう、スープ類を中心に製品を提供しています。弊社の製品が少しでも地域の支えになることを、社員一同心より願っています。



神奈川東部ヤクルト販売株式会社
執行役員
小林勲さん

「健康幸せお役立ち企業」でありたい

これまで弊社では「応援ヤクルト」の名称で、医療従事者やホテル関係者への飲料提供を無償で実施してきました。お子さんをはじめ、地域の困っている方々を対象とした社協の飲料や食糧支援への協力で、より多くの方のお役に立てるのが嬉しいです。エビデンスに基づいた弊社製品の機能を活かし、我々にしかできないコロナ禍の社会貢献として、地域のお役に立てればと思います。

BOOK 困った時に頼れる社協へ

特例貸付の現場から見える生活困窮のリアル

コロナ禍で生活にお困りの人々の姿をマンガや図で紹介



長引く感染症拡大の影響で、失業や収入減といった困難を抱える人々に対応するのが特例貸付。

私たち川崎市社協では、2020年3月の制度開始以降、約13万件の相談を受け付けてきました。貸付の事務手続きだけでなく、行政や各福祉機関と連携し、相談者の生活再建に向けて日々奔走しています。

冊子では、実際にあった相談ケースをマンガで多くの方に伝えるように紹介。「何か困ったことがあったら市区社協に相談」をスローガンに、今後も寄り添った支援を行います。

※特例貸付の申請は令和4年9月末で終了しました。



冊子ダウンロードはこちら



EVENT 想いをつなげ! 子どもたちの未来に向けて



ルートや時間の詳細はこちら



キザクリのオリジナル缶バッジ



オレンジリボン たすきリレー川崎コース 10月23日(日)開催決定!

児童福祉関係者等が
「オレンジのたすき」をつないで走る
啓発活動

子どもたちの明るい未来と虐待防止の象徴・オレンジリボン。このリボンをたすきに仕立て、約100人のランナーがリレー形式で市内25kmを走り抜きます。目指すゴールは横浜・象の鼻パーク。

たすきリレー以外にも、さまざまな啓発活動がホームページに掲載されていますので、ぜひチェックしてみてください!

EVENT 区社協のイベントに参加しよう!

市民の皆さんが地域や福祉の活動に触れ、新しい出会いと交流の場にするためのイベントが各区で開催されます。

多摩区社協

公開講座「終活って何だろう?」

●とき: 11月~令和5年2月までの全8回(要問合せ)

●会場: 南菅老人いこいの家

●問合せ: 044-944-7790

60歳以上のシニア世代が、自分らしい最期を迎えるための市民講座(要申込)

麻生区社協

あさお福祉まつり

●とき: 11月13日(日)10~14時

●会場: 麻生区役所・麻生市民館

●問合せ: 044-952-5500

区内で地域福祉に携わるボランティア・当事者・施設等の活動紹介

高津区社協

たかつボランティアまつり

(たかつボランティア・当事者団体交流会)

●とき: 令和5年1月21日(土)10~12時

●会場: てくのホール

●問合せ: 044-812-5500

区内ボランティア活動の紹介など

宮前区社協

みやまえ福祉フェスティバル

●とき: 11月20日(日)10時半~13時

●会場: 宮前市民館

●問合せ: 044-856-5500

区内の地域福祉推進に貢献した方への表彰と映画上映(事前申込制)

中原区社協

なかはら福祉健康まつり

●とき: 11月20日(日)10~13時

●会場: 中原区役所

●問合せ: 044-722-5500

福祉健康体験コーナー・相談コーナー、模擬店・舞台発表・作品展示など

幸区社協

さいわい健康福祉プラザ祭り

●とき: 10月15・16日(土・日)10~15時

●会場: 川崎市さいわい健康福祉プラザ

●問合せ: 044-556-5500

幸区民祭と同日開催! 赤ちゃんから高齢者まで、みんなで一緒に楽しめるイベント

川崎区社協

川崎区社会福祉大会

●とき: 11月19日(土)10時半~12時15分

●会場: 川崎市教育文化会館

●問合せ: 044-246-5500

区内の地域福祉推進に貢献した方への表彰と講演会(事前申込制)



※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、中止・延期になる場合がございます。

LECTURE 考えを深めよう!

発達障がい者の家族、友人、支援者に /

発達障害のある人の青年期を どう支えるか?

~ある青年のケースからの学び~

講師 太田 修嗣 氏 認定NPO法人くるみ未来 理事長

発達障がいを持つ人が特に生きにくさを感じるといわれる青年期(高校生~20代頃)。周囲ができることを一緒に考えてみましょう。

11月9日(水)13:30~15:30

●会場: エポックなかはら JR「武蔵中原」駅直結

●オンライン: ZOOM

●対象: 川崎市内在住・在学・在勤の人

●定員: 会場20名、オンライン30名

●申込: 福祉人材バンクHPかQRコードから(10月12日〆切) TEL: 044-739-8726

●主催: 川崎市福祉人材バンク



※申込み多数の場合は抽選

医療・福祉職向け /

第88回神奈川リハビリテーション研究会 川崎市における地域リハビリテーション の取り組みについて

職種・施設間の情報交換を図り、質の高いリハビリテーションサービスの提供を目指す研究会です。講師には川崎市総合リハビリテーション推進センター副所長・小林宏高氏をお迎えし、講演、一般演題発表などを行います。

11月19日(土)14:00~16:30

●会場: 総合研修センター研修室 JR「川崎」駅 徒歩15分

●対象: 医療・福祉職、リハビリテーションに関心のある方

●定員: 会場60名

●費用: 1,000円(資料代)

●申込: QRコードから申し込み、またはれいんぼう川崎・山岸までお問い合わせください。TEL: 044-888-8601(代)

●主催: 神奈川リハビリテーション研究会

●協力: 総合研修センター

※申込み多数の場合は抽選



SUPPORT じぶんの地域をよくするために



10月1日から
赤い羽根共同募金が
はじまります

皆さまから寄せられた寄付金は、市内の地域福祉活動や災害ボランティア活動、コロナ禍で困っている方への支援に役立てられます。今年もあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

●募金の使い道



障がい者支援



子育て支援



高齢者支援



災害時支援

／神奈川県限定！／

募金協力でご当地グッズをGETしよう

500円以上の募金協力で、J1・川崎フロンターレや県内動物園とコラボしたオリジナルグッズをプレゼント！ ※数に限りあり

●取り扱い場所などお問合せは…

神奈川県共同募金会 川崎市支会連合会 TEL：044-739-8716



ふろん太ピンバッチ・ボールペン
(川崎フロンターレ)



ワラビーピンバッチ
(野毛山動物園)

DVD 地域福祉情報バンクのおすすめDVD！

「不安の正体 精神障害者グループホームと地域」

制作：映像グループ ローポジション/2021年

精神障がい者グループホーム（以下、GH）の建設予定地の多くで、地域住民から反対の声が上がる現実をご存じですか？急に暴れたりするのではないか、危険な人たちをなぜこのまちに住まわせるのか…。住民たちが訴える不安に対して、反対運動が起こる理由やGHの日常を、映像で詳しく解説していきます。

本編には、精神障がい者の人権問題に取り組む弁護士が出演し「不安の前提には、マスコミから刷り込まれた誤解や偏見がある」「犯罪の摘発総数のうち、精神

障がい者の割合は統計上わずか」など、事実に基づき分かりやすく説明。また、川崎市のGHで暮らす人々の様子も収録され、同じ悩みを抱える人間同士の共同生活が精神疾患の回復にいかに効果的か、当事者自身の言葉で語られます。

「漠然とした不安を抱く人にこのDVDを観てほしい」という弁護士の言葉どおり、精神障がい者と彼らを取り巻く環境を正しく理解し、現代社会におけるGHの存在意義を実感するためにも、多くの方に視聴してもらいたい作品です。



DVD収録内容
65分（短縮版30分）



エポックなからは6階で貸出しています

●関連本（地域福祉情報バンクで配架中！）

- 「ルポ・収容所列島 ニッポンの精神医療を問う」（風間直樹、井上恵美、辻麻梨子/東洋経済新報社/2022年）
- 「社会的入院から地域へ 精神障害者のある人々のピアサポート活動」（加藤真規子/現代書館/2017年）

●地域福祉情報バンクへのお問合せ

TEL：044-739-8720 MAIL：jyoho@csw-kawasaki.or.jp



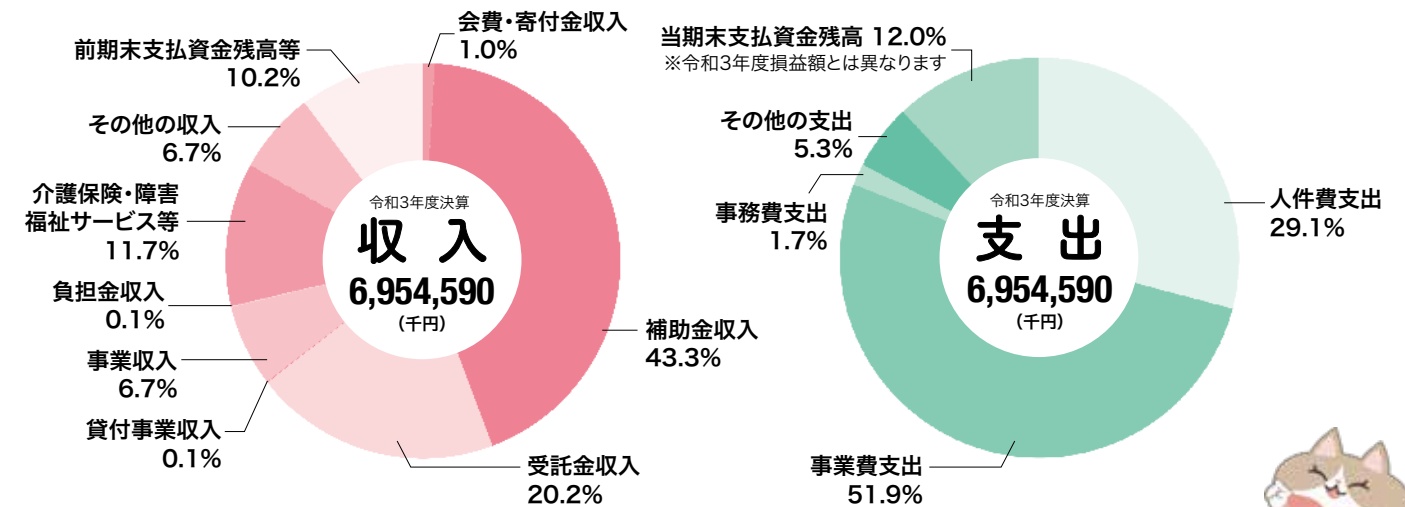
蔵書検索は
「ふくみみ」で！



社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

令和3年度 事業報告・決算

令和4年3月の理事会・評議員会において、下記の通り承認されましたのでご報告いたします



基本方針

長期化する新型コロナウイルス感染症のまん延、国際秩序の不安定化、資源価格や消費物価の高騰など、社会情勢が変化するとともに、地域住民が抱える課題も深刻化しています。この地域生活の変容へ柔軟に対応するため、本会では令和3年4月に経営改革基本方針である「骨太方針」を策定し、地域包括ケアシステム推進に向けた取組を展開してきました。

特に、令和2年3月に開始した生活福祉資金貸付制度の特例貸付では、生活保護にいたる前のセーフティネット的な役割を果たしています。生活困窮世帯へ食糧や日用品などを配布する「食糧支援かわさき」など、コロナ禍における独自の取組も継続して実施しました。地域福祉推進における中心的な担い手として、本会は地域住民の暮らしを支え続けています。

さらには地域福祉活動推進計画の推進、組織経営基盤の強化など、以下に記載する3つの重点項目を柱として事業を実施しましたので、次のとおり報告します。

1. 第5期地域福祉活動推進計画の推進

総合的な相談支援体制の構築に向け、地域福祉のネットワークづくりやコミュニティソーシャルワークの具体的な実践手法・取組内容に関する検討会を立ち上げました。また、本会職員と市長との意見交換会を行い、地域課題の共有を図るとともに、行政との連携をさらに深めました。

2. 組織経営基盤の強化

経営基盤の強化と財政健全化に向け、以下のような取組を行いました。

- ① 会員制度見直しを行うことで、132の新規会員を獲得しました。
- ② 「ソフトバンクつながる募金」導入による新しい寄付の仕組み構築、HPのバナー広告募集、LINEスタンプ販売など、新たな視点からの事業外収入方策を模索しました。
- ③ 川崎市成年後見支援センター・総合研修センターなどの運営を市から受託することで、安定した財源の確保と多角的な地域福祉推進の両立を図りました。
- ④ 組織内の課題発掘・解決に向け、常務理事と職員との意見交換会の実施、および情報共有の場を設置。市社協・区社協における各事業の方針・方向性や、事業にかかわる意識の共有を図りました。

3. 想定される災害に備えた地域防災力の向上

災害ボランティアセンターの役割・位置付け、川崎市・かわさき市民活動センター・本会の役割、全市と地域拠点の在り方、多様な媒体による情報発信、技術ボランティアの活用、災害ボランティア関係団体との協力体制、費用負担のあり方を明確化しました。また、想定される大規模災害に機動的な対応が図れるよう、災害ボランティアセンターの運営訓練を実施し、運用マニュアルの見直しに取り組みしました。

つながる募金

QRコードを読み取って、シンプル操作でカンタン寄付！いただいた寄付金は、ボランティア活動・コロナ禍の食糧支援・災害支援など、地域を支えるさまざまな取組に活用されます。

 **つながる募金**



寄付御礼 (令和4年6月1日～8月31日受領分)

みなさんから集まった寄付金等は、地域福祉推進のための活動に使われます。

川崎市社会福祉協議会の
地域福祉活動へのご寄付

大和証券株式会社
川崎支店 様



ホームヘルパー募集

旧ヘルパー2級以上の方。無資格・未経験者も大歓迎！

●勤務地

川崎市内（希望を最大限考慮します）

●勤務時間

1日1時間～OK

●給与

時給1,490円～1,970円（生活支援）

時給1,910円～2,390円（身体介助）

●待遇

交通費全額支給、有給休暇、労災保険加入

●問合せ

介護支援課 TEL 044-739-8712

働く仲間を
お待ちしております！



採用サイトができました！

ホームヘルパーの採用に特化した
ホームページができました。ぜひ
ご覧ください。



川崎市社協
オリジナルキャラクター
ななふく

LINEスタンプ好評販売中

スタンプ買って地域貢献！

購入費用は川崎市内の地域福祉
向上のために役立てられます



LINEスタンプショップ

川崎市社協

検索



LINE公式アカウント
友だち募集中

お仕事にもプライベートにも

全24種 120円 (50コイン)



広告

Colors, Future!
川崎市

消費生活サポーターになろう



消費者トラブル等について、地域と川崎市消費者行政センターの橋渡し役となつて
いただく「消費生活サポーター」を募集しています。
「消費生活サポーター」は、消費生活について、地域の見守りや知識を広げる担い手
として、ご自身のライフスタイル・知識・経験に合わせできるボランティアです。

川崎市 経済労働局産業政策部消費者行政センター 啓発係
〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル10階
電話:044-200-3864

<2022年度の募集>

12/3(土)・10(土)開催の
養成講座にご参加ください

消費生活サポーター 検索



編集・発行

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

住所：川崎市中原区上小田中6-22-5 TEL：044-739-8710（代） FAX：044-739-8737

E-MAIL：info@csk-kawasaki.or.jp HP：http://www.csk-kawasaki.or.jp/

広報紙「川崎の社会福祉」へ掲載する広告を募集しています。詳細はお問い合わせください。

この広報紙は一部共同募金の配分金で発行されています。

